

## 「北極圏旅行記 2017 夏 (21)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋  
～7/30 メルブへの雨の旅路(1)～

レストランに行った翌朝、今日も移動の日である。この日はロフォーテン諸島の **Hadseløya** (ハドゥセル島) にある、**Melbu** (メルブ) という港街までの移動だ。島といっても、すべて橋か海底トンネルで結ばれているので、陸路だけでも行ける。しかし、途中で短絡のフェリーもあり、出発の時点では、どちらの経路にするか決めていなかった。



出発前に行ってみたい場所があった、宿舎の近くの半島の灯台である。昨日乗ったフェリーから灯台が見えたのだ。上図のAが宿舎、Bが昨夜行ったレストラン、Cが灯台だ。しかし結局車で行けるのはD地点までで、そこから岩の荒地を相当歩く必要があるのだ、あきらめた。



自動車道の行きどまりのD地点は、静かな入り江に

なっていた。波がまったくないので、湖水のように見えるが、ここも海である。



このあたりは複雑な地形で、海と陸が入り組んでいる。ちょっと内陸には湖もある。見分け方は簡単で、汀線に海藻があれば「海」なければ「湖」だ。上写真の場所は海藻があるので、海とわかる。



国道に戻る途中に、港の見える高台を通過した。残念ながら天気は昨日より悪い。非常に細い道だが、実に美しい景観である。





昨夜食事をとったレストランもよく見えた。このお店は次回（といっても何年後か・・・）も必ず寄ってみたい。



昨日2回撮影に行った「レイネ」も通り道なので、寄ってみた。霧に煙っていて、遠くの山は見えなかった。天気は急速に悪化しているようだ。



ロフォーテン諸島のE10号線には、このような入江の風景が多い。実に絵になる。やはり Sørvågen（スールヴォーゲン）にもう一泊すればよかったと思った。



小さな島を結ぶ道路には、橋がかけられている。対面通行ができないほど細い橋もあり、信号で一方通行になっている。



しかし、ここはロフォーテン諸島唯一の幹線道路。路線バスも走っている。一番近い Leknes Lufthavn（レクネス空港）から、最果て Å 村までのバスだ。このバスにも一度乗ってみたいと思った。



今日は天気が悪い。右手に見える岩山も、晴れていれば壮観なのだろうが、この日は残念だった。